

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

お知らせ

Webサイトをリニューアルしました！

3月27日(金)より、メディアセンターのWebサイトをリニューアルしました。新しいWebサイトでは、キャンパスごとに提供していたサイトを統合しました。画面中央にKOSMOS検索が可能なBOXを配置し、左側のメニューに理工学メディアセンターの情報をまとめています。ぜひご利用ください。

Webサイトのリニューアルに伴いURLも変更になりました。ブックマークやお気に入りなどに登録している方はリンク先の変更をお願いします。

<新URL> <https://www.lib.keio.ac.jp/scitech>



私の一冊

化学科

末永 聖武先生

『芙蓉の人 / 新田次郎著』
(文春文庫)



配架場所：創想ライブラリー

明治28年(1895年)に富士山頂で世界初の冬季高地気象観測を命懸けで行った野中到・千代子の物語です。妻 千代子の視点から書かれています。私財を投じて富士山頂に観測小屋を建設し、到は一人で富士山頂での越冬、昼夜2時間毎の観測に挑みました。聡明な千代子は計画に無理があることを察し、密かに周到に準備して到の後を追って富士山頂へ向かうのでした。過酷な観測生活のリアルな描写は、富士山頂で実際に気象観測を経験した著者ならではの、本書の主題は千代子の生き様でしょう。著者はあとがきで「現在の世に、野中千代子ほどの情熱と気概と勇気と忍耐を持った女性が果たしているであろうか。」と記しています。

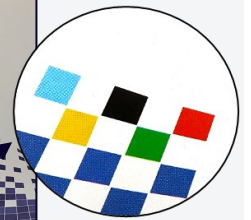
Contents

Webサイトをリニューアルしました！	P.1
利用案内が新しくなりました	P.1
理工学部教員の「私の一冊」	P.2
RSC EBAモデル案内	P.2
ILL新サービス開始！	P.2



お知らせ

利用案内が新しくなりました



写真は毎年発行している図書館の利用案内リーフレットです。2017年度版の表紙デザインにある赤と黄色をベースに、2018年度は水色、2019年度は緑色を追加し、2020年度の黒の追加で、ちょうど五輪マークと同じ配置で5色がデザインされたリーフレットが完成しました。ところが残念ながら新型コロナウイルス感染拡大によって、東京オリンピック・パラリンピックの開催は延期となってしまいました。自国開催の夏のオリンピックは第18回(1964)に続く2回目です。学生の皆さんは初めて直に感じることができるチャンスなので、更なる延期や無観客開催にならないことを祈るばかりですが、それより何より全世界で感染が早く収束することを願って・・・

ウイルスに負けるな！そしてガンバレ！ニッポン！！

今月の一枚：

館内に増えたもの



2月末から、館内に圧倒的に増えたものはなんでしょう。新型コロナウイルス関連のポスターと、予防のためのアルコール消毒液です。

現在世界を騒がせている新型コロナウイルスは、まだまだ収束する気配がありません。利用者の皆さんに安心して館内を利用してもらうべく、写真のようなアルコール消毒液を、入り口近くやお手洗いの近くなど、館内6箇所に配置しています。

このほかにも、大勢で集まることのできるセミナールームやグループ学習室を閉鎖したり、館内の換気をしたり、予定していたセミナーを延期したりと、図書館スタッフにできることを実践しています。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、感染拡大を防ぐために、利用者の皆さんにご協力をお願いします。

メディアセンター豆知識

藤棚があったころ

今から約20年前に創想館(14棟)ができるまで、理工学メディアセンターの入口は創想館と本館(15棟)の間、今は自動ドアがあるところにありました。このことは、本ニュースの218号でも紹介していますが、その当時、入口の前には工学部の8・9期生から卒業25年を記念して贈られた藤棚がありました。毎年、初夏にはメディアセンター入口が紫色の花で彩られ、ベンチもあって暑い夏にはこちよい日陰でのんびり休憩する人もいました。そのころの写真が「慶應義塾大学理工学部75年史」の173ページに載っていますので、ぜひご覧ください。

小展示

理工学部教員の「私の一冊」

理工学メディアセンターニュースで連載中のコラム「私の一冊」では、理工学部の先生方が学生の皆さんにお薦めしたい本を、あらゆる分野からご紹介くださっています。今回は、2017年4月から2020年3月の間に掲載した、24名の先生方の「私の一冊」を一挙に展示します。

先生方が研究者を目指すきっかけとなった本、研究の合間のリラックスした時間に読む本・・・「あの先生が、こんな本を?!」といった新たな発見もあるかもしれません。新学期のお供の本探しに、是非お立ち寄りください!

【日時】 2020年4月13日(月) - 5月30日(土)

【場所】 理工学メディアセンター創想館1階

過去に掲載された全ての「私の一冊」はこちらをご覧ください。 →



2020年4月13日(月)～5月30日(土)
理工学メディアセンター創想館1階

サービス

RSC EBAモデル案内

普段、RSC(Royal Society of Chemistry:英国王立化学会)の電子ジャーナルをご利用になっている方も多いかと思いますが、この度、RSCの電子ブックコレクション/EBA(Evidence Based Acquisition)モデルを契約しました。EBAモデルは、契約期間中、RSCから出版されている全ての電子ブックにKOSMOSからアクセスができ、期間後は契約価格分のタイトルを購入できるというものです。

今年の1月からサービスを開始しましたが、1月～2月は39タイトル、78回の利用がありました。ちなみに、圧倒的に利用が多かった電子ブックのタイトルは、Analytical Electrogenerated Chemiluminescence: From Fundamentals to Bioassaysです。

期間中に新たに出版されたタイトルも随時追加されます。この機会に、RSCの電子ブックをご活用ください。

【期間】 2020年1月から12ヶ月間
【収録数】 約1,600タイトル(1968-現在)
【アクセス】 各キャンパスからアクセス可(学内)
同時アクセス無制限

電子ブックのタイトルリストはこちらをご覧ください。 →



サービス

ILL新サービス開始!

ILL(Inter Library Loan、図書館間相互貸借)サービスを利用し、他大学から本を借りたり、必要な論文のコピーを寄せたりしたことがある方は多いのではないのでしょうか。

これまで、早稲田大学からの取寄せを除き、サービスに掛かる費用はすべて利用者の方の負担となっていました。送料が高くなってしまったため、重く大きい本を取り寄せたり、海外からコピーを取り寄せることを諦めた方もいるかと思えます。

そこで、金銭的負担を軽減し、皆さんの研究をよりサポートしていくため、2020年4月1日より、費用の一部をメディアセンターが負担するサービスを開始いたします。

受取館で所蔵していない資料の取寄せ費用のうち、1件3000円までメディアセンターが負担いたします。3001円以上の場合は、超過分のみご負担ください。超過分の支払いは校費でも可能です。

そのほか、サービスの詳しい内容や注意事項は、右のQRコードからWebサイトをご確認ください。



理工学メディアセンターリポジトリ ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。

理工学メディアセンターWebサイトに
あるバナーよりご覧ください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL: 045-566-1477
E-mail: rmc-info-group@keio.jp

Webサイト



Twitter



電子版はWebサイト「理工学メディアセンターについて」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。